

Arts Towada 十周年記念事業
十和田市現代美術館 新たな常設作品公開のお知らせ

体験型の大規模インスタレーション《建物》が世界初の常設展示に
レアンドロ・エルリッヒ【2021 年 12 月 1 日（水）より公開】

—塩田 千春 / 名和 晃平 2021 年 4 月より公開中—



レアンドロ・エルリッヒ《建物—ブエノスアイレス》
撮影：小山田邦哉

十和田市現代美術館では、十和田市のまちを美術館にするプロジェクト“Arts Towada”が 10 周年を迎えたことを機に、2021 年、開館以来初の常設作品の入れ替え、展示室の増築、寄託された作品の展示を行なっています。

2021 年 4 月には、常設展示作品を入れ替えて塩田千春の新作《水の記憶》を、寄託作品として名和晃平《PixCell-Deer#52》を公開しています。そして 12 月 1 日（水）には、常設展示作品 レアンドロ・エルリッヒ《建物—ブエノスアイレス》が、春より建設を進めてまいりました新たな展示室とともに公開となります。

レアンドロ・エルリッヒ（アルゼンチン出身）は体験型の大規模なインスタレーション作品で知られ、当館では代表作《建物》のシリーズを世界で初めて常設作品として展示します。建物と一体化し、作品に入り込むような体験ができる仕掛けは、鑑賞者が作品に関与するという既存コレクションとの親和性が高く、当館の持つ特徴をさらに際立たせより豊かな鑑賞体験を提供します。

コロナ禍において美術館の持つコレクションの役割や意義が再認識される今、当館の主体であるコレクションの重要性を改めて考え、今後も更新を続けていきます。

レアンドロ・エルリッヒ



©guyot

1973 年アルゼンチン生まれ。ブエノスアイレス（アルゼンチン）とモンテビデオ（ウルグアイ）を拠点に活動。コンセプチュアルアーティストとして、現実を知覚する根拠となるものは何か、また視覚を通じて現実を現実だと認識する鑑賞者の能力を探ろうとする。日常生活の中で見慣れた構造物はエルリッヒの作品に繰り返し登場するモチーフであり、私たちが信じていることと見ていることとの間に対話を生み出すことによって、美術館やギャラリーなどの空間と日常での経験との距離を縮めようと試みている。主な近年の個展に、「Leandro Erlich : Liminal」（ブエノスアイレス・ラテンアメリカ美術館、アルゼンチン、2019 年）、「Leandro Erlich : The Confines of the Great Void（太虚の境）」（中央美術学院美術館、北京、中国、2019 年）など。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

■2021 年 12 月 1 日より公開

レアンドロ・エルリッヒ 《建物—ブエノスアイレス》

体験型の大規模なインスタレーションで知られるレアンドロ・エルリッヒの《建物》シリーズを、世界で初めての常設作品として展示します。今回、作家は故郷アルゼンチンのブエノスアイレスで馴染みのあるファサードを選びました。

鑑賞者は、鏡の効果によって、重力に逆らうように自由なポーズを建物の表面で取ることができます。シンプルなトリックでありながらも、現実ではありえない光景の中にいる自分自身の姿は、初めて目にする人々に戸惑いと驚きをもたらすでしょう。鑑賞者が作品の中に入り込むことによって成り立つ作品である一方で、ポーズを取る人々の様子とそれを内包した空間を観察する鑑賞者たちの存在など、鏡を介して複数の視点が共存する作品でもあります。



レアンドロ・エルリッヒ 《建物—ブエノスアイレス》
撮影：小山田邦哉

【 関連イベント 】

レアンドロ・エルリッヒ×鷲田めるる オンライン対談

作家レアンドロ・エルリッヒと当館館長・鷲田めるるとの対談をライブ配信します。

日 時：12月3日（金）20：00 - 21：00

※開催日時となりましたら以下 URL 内にご視聴画面、もしくはご視聴 URL が表示されます。

https://towadaartcenter.com/events/leandro_erlich_online_talk_20211203/



十和田市現代美術館 2021 年度公開の常設・寄託作品

■常設作品

2021 年 4 月 1 日（木）より公開中：塩田 千春《水の記憶》

2021 年 12 月 1 日（水）より公開：レアンドロ・エルリッヒ《建物—ブエノスアイレス》

■寄託作品

2021 年 4 月 1 日（木）から 2023 年 9 月まで展示予定：名和 晃平《PixCell-Deer#52》

Arts Towada とは

十和田市ではより魅力的で美しい官庁街通りの景観を作り出すとともに、未来へ向けた新しいまちづくりの一環として「Arts Towada」計画に取り組んできた。この計画は官庁街通りという屋外空間を舞台に、通り全体を一つの美術館に見立て、多様なアート作品を展開していくという世界でもまれな試みである。アート作品に加え、十和田市の歴史や美しい自然、そして地域のもつ活力を引き出し未来へつなげていくような仕掛けを随所に盛り込むことで、十和田市を個性あふれる『アートの街』『感動創造都市』として国内外の多くの人々に印象づけることを目指す。その中核施設となる十和田市現代美術館が 2008 年度に開館、引き続いて美術館向かい側の跡地の整備およびシンボルアートの設置を行い、Arts Towada は 2010 年春に完成。

十和田市現代美術館

2008 年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、子どもから大人まで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができる。

開館時間：9:00-17:00 / 休館日：月曜日（祝日の場合はその翌日）

観覧料：2021 年 12 月 1 日より 1800 円に改定（企画展開場時 1000 円）、高校生以下無料

所在地：青森県十和田市西二番町 10-9 / TEL：0176-20-1127 / FAX：0176-20-1138

web：www.towadaartcenter.com



お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号に○を付けて、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を E-mail または FAX にてお送りください。

E-mail : press@towadaartcenter.com / FAX : 0176-20-1138

TEL : 0176-20-1127 / 住所 : 034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

十和田市現代美術館 広報 大谷 行

【1】



【2】



【3】



【4】



媒体名 _____

媒体ジャンル 新聞／雑誌／美術誌／テレビ／WEB／その他 (_____)

御社名 _____

御担当者名 _____

所在地 〒 _____

電話 _____

メールアドレス _____

【 画像ご使用に際して 】

■クレジットは全て明記してください。

■トリミングはご遠慮ください。

■キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。

■ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com